

# 森林工芸館の あれこれ

no.01  
4  
2020

町民であれば一度は目にしたことがある  
「オケクラフト」。

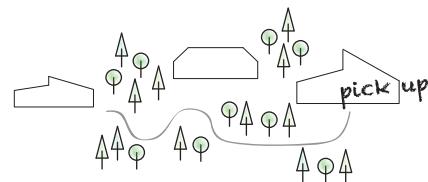
でも、そのオケクラフトって実はなに?  
工芸館、どま工房、共同工房の関係性って?  
近いからこそ知らなかつた、工芸館のあれこれ。  
皆さんに知つてほしくてまとめました。

隣り合う共同工房は一九九三年に、どま工房は  
一九九四年に開設され、三館がそれぞれの役割  
を果たし補うことで、森林工芸館は成り立つて  
います。

まずは、オケクラフトの中心地「森林工芸館」  
について、その内部をのぞいてみましょう。



オケクラフトセンター森林工芸館  
1988年4月開設  
木造2階建て  
open 10:00~18:00  
close 毎週水曜日 / 年末年始  
※水曜日が祝日の場合は開館



## 工房

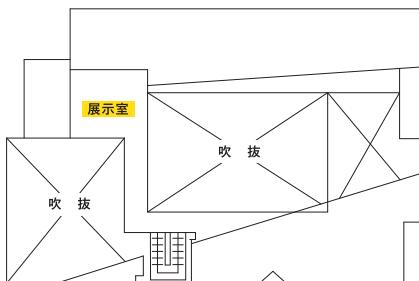
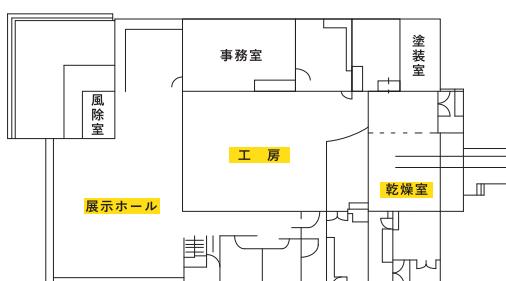


一階には、オケクラフトが生まれる工房があります。ここは、作り手になるための研修制度「オケクラフト作り手養成塾」の塾生が学ぶ場所もあります。本工ろくろや万能木工機が設置され、ガラス越しに製作風景を見ることがあります。

## 展示室



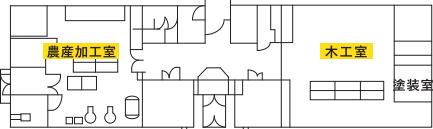
二階には、オケクラフト誕生当初からの作品が、並べられています。当時の流行を知ることができる貴重な資料です。



1階

2階

## ショッピング（展示ホール）



## 木工室

「木に親しむ日」などの木工教室をしている部屋で、町内の主婦グループをはじめ、いろんな方が料理をすることができます。ここに

ある蒸気釜は、蒸気を使つて調理することができます。ここに

## 乾燥室

表からは見ることができないこの部屋は、材料となる木材の乾燥をしている所です。伐採してすぐの木は、水分を多く含んでいて、乾燥とともに狂いが生じてしまします。その狂いが出ないよう機械で調節され、加工に適した水分量に調整された木材が、作り手に提供されます。

オケクラフトを中心とし、町内で製作された商品を展示販売しています。丁寧に作られた商品が、個人工房ごとに並べられています。実際に手に取って、見て、自分でだけのお気に入りを見つけてみてください。



塾生さん、いま何してる？

## 「オケクラフト作り手養成塾」って何をしているの？

塾生が過ごす日々の出来事について、皆さんにお知らせしていきます。塾生が日々、どんな学びをとおして作り手となっていくのか。皆さんにも知っていただけの機会になればと思っています。

オケクラフト作り手養成塾  
2年生 前田めいさん



新年度に入り、二年生になった前田さん。昨年六月から製作実習を本格的にはじめ、基本デザインからオリジナルのものまで、日々研鑽を重ねてきました。三月一日から四月十四日まで、これまでの研修成果を披露する「成果展」を森林工芸館ショップで行っています。前田さんらしい世界観で器類六種と置物）を、ぜひショップで手に取つてご覧ください。

## 研修の「成果展」

【日本の手仕事道具 - 秋岡コレクション】を知っていますか？ 九州三県で作られる郷土玩具「きじ馬」は、その土地ごとに様々な特徴を持ちます。最始めた秋岡芳夫さんが、半生をかけて集めた生活資料のことです。ここではその秋岡コレクションについて、普段、皆さんはなかなかお見せする機会の少ない資料をお伝えしていきます。

資料の「深読み」楽しんでくださいね。

今日は何を知ろうか



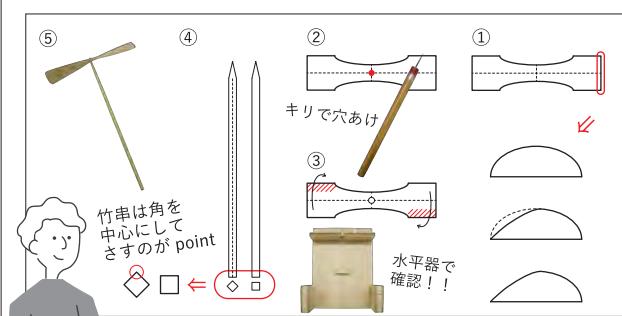
【今月の一品】では、毎日、オケクラフトとともにいる私たちの一品をご紹介します！ 第一回目の今回は、オケクラフト全般についてお話しします。

オケクラフトの本流は食卓を彩る木の器たち。これら器たちの特徴は、木肌や木目を生かした木地仕上げ樹脂含浸ポリウレタン塗装を施した、手にもやさしく気軽に使いいただける点です。日常の生活の中、家庭での食事の時間、食卓はもっともリラックスできる場面ではないうえで、より和やかで穏やかな時間を過ごすことができるのです。オケクラフトが加わることで、商品を選んでも手にもやさしく気軽に使いいただける点です。日常の生活の中、家庭での食事の時間、食卓はもっともリラックスできる場面ではないうえで、より和やかで穏やかな時間を過ごすことができませんか。

モクモクさん  
今月のモノづくりはなんですか？

今月のモノづくりは、オケクラフトの名付け親である秋岡芳夫さんの代名詞といつても過言ではない「竹とんぼ」です。

秋岡さんは、竹とんぼについて、こんな言葉を残しています。



## - つくりかたの point -

- ①羽根は断面が飛行機の翼の形になるよう、紙ヤスリをかけます。
- ②紙ヤスリをかけ終えたら、キリで羽根の中心に穴を開けていきます。
- ③羽根を曲げます。中心に水をつけ、温めながら曲げていきます。曲げた羽根が均等か、水平器を使って確認をしましょう。
- ④羽根に軸となる竹串をさし、固定します。
- ⑤乾いたら色付けをして完成！ 飛ばしてみましょう！



はじまりました。 「森林工芸館のあれこれ」（拍手！）

4月スタートで、これから毎月一号ずつ発行していきたいと思います。

工芸館やどま工房、共同工房など、今よりも知つてもらつて、身近な存にお願いします。

次回は「どま工房」についてのお話です。五月の連休イベント【木あそび展】についてのお知らせもあるので、お楽しみに。なお、木あそび展の開催にあたり、どま工房の貸館が二十日から五月十日まで中止となります。

## — n × n 編集後記 —

## と、次回のお話